

科目ナンバリング		G-LAS13 80013 LJ90							
授業科目名 <英訳>	健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ Disaster Healthcare Management Workshop				担当者所属 職名・氏名	医学研究科 教授 今中 雄一			
群	大学院横断教育科目群			分野(分類)	健康・医療系		使用言語	日本語	
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中		曜時限	集中		配当学年	大学院生	対象学生	全学向
（医学研究科の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）									
[授業の概要・目的]									
新興感染症流行、自然災害などが増えるなか、健康危機への対応は益々大きな社会的課題となっています。危機突発時の健康危機管理・災害医療においては、情報の収集把握、情報共有、計画・立案・決断・実行、関係者間の協働、資源の配備・調整などのマネジメント面が重要となってきます。 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ（通称：災害医療ワークショップ）では、我が国のDMAT総本山のリーダー陣が実例ベースでワークショップを行い、健康危機管理、特に災害医療でのマネジメントの側面を、基本概念の理解の上、いくつかの事例の検討、グループワークなどを通じ、体験的に学びます。 医療や災害医療の知識がない、経験がないと思っていても、大丈夫です。職種も関係なく参加可能です。									
[到達目標]									
健康危機管理、特に災害医療でのマネジメントのしくみを理解し説明できるようになる。									
[授業計画と内容]									
【日時】 2024年8－9月頃 事前の4講義の視聴とレポート・質問作成 ワークショップ当日：朝～夕 1限～5限相当 【場所】 京都大学 医学研究科 G棟 セミナー室A 【外部講師】 近藤久禎先生、若井聡智先生 ほか									
＜アクティヴラーニング用e-ラーニング講義＞ 講義1 DMATの意義について 講義2 CSCATTTについて 講義3 広域災害におけるDMAT活動と広域災害救急医療情報システム(EMIS) 講義4 病院の災害対応と受援									
＜講義＞ 講義5 e-ラーニング講義の内容に関する質疑応答・ディスカッション ※講師：厚生労働省DMAT事務局/国立病院機構本部近藤 久禎/若井 聡智									
講義6 「近年の災害対応とDMAT（自然災害）」 ※講師：厚生労働省DMAT事務局/国立病院機構本部近藤 久禎／若井 聡智									
机上演習 1 ※講師：厚生労働省DMAT事務局/国立病院機構本部 近藤 久禎／若井 聡智									
健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ(2)へ続く↓↓↓									

健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ(2)

※ファシリテーター 佐々木 佳恵／黒田 愛実／堀田 舞／川野 聡美

机上演習2

※講師：厚生労働省DMAT事務局/国立病院機構本部 近藤 久禎／若井 聡智

※ファシリテーター 佐々木 佳恵／黒田 愛実／堀田 舞／川野 聡美

机上演習3 「COVID-19事例紹介と机上演習」

※講師：厚生労働省DMAT事務局/国立病院機構本部 近藤 久禎／若井 聡智

※ファシリテーター 佐々木 佳恵／黒田 愛実／堀田 舞／川野 聡美

[履修要件]

健康危機管理、災害医療のマネジメント側面に、関心を持つ者

[成績評価の方法・観点]

ワークショップへのコミットメント

[教科書]

<資料>

講義資料1 DMATの意義について

講義資料2 CSCATTTについて

講義資料3 広域災害におけるDMAT活動と広域災害救急医療情報システム(EMIS)

講義資料4 病院の災害対応と受援

講義資料や机上演習の資料は、ワークショップ中に適宜追加。

[参考書等]

(参考書)

特に指定無し

[授業外学修（予習・復習）等]

履修登録者は、ワークショップの事前に、4講義を視聴し、A41枚以内で、学んだことのキーポイントと質問を記すレポートをPandAにて提出すること。

[その他（オフィスアワー等）]

京都大学の大学院生であれば専門領域を問わず受講可

問い合わせ等は、

医療経済学教室教務 <heqm-kyoumu(at)mail2.adm.kyoto-u.ac.jp>

へご連絡ください。

面談等希望者は、適宜、教員にアポイントメントをとってください。